

I 「大阪賑わい創出プラン」に基づく 戦略的・先導的具體事業の着実な推進

地域経済を牽引するエンジン産業の振興

1 新しいモノづくり産業の振興

【大阪・関西の企業の技術力を活かし新たなモノづくりを支援する取り組み】

- ①大阪・関西のサポーティングインダストリーの基盤技術の向上と企業間連携などを支援するため、「モノづくり基盤産業高度化支援研究会」を継続運営する。また、燃料電池分野の技術開発を促進する「燃料電池・水素エネルギー研究会」を引き続き開催するほか、大阪大学・大阪府立大学などとの産学連携を通じ、産産・産学官の共同研究開発プロジェクトを創出・推進する。
- ②大阪・関西の大手家電・IT・通信関連企業などの優れた商品開発力を活かした新しいモノづくりを促進するため、「情報家電ビジネスパートナーズ」を運営し、国内外の企業などからの新技術・ビジネス提案とのマッチングを促進する。また、IT産業における最先端技術の生活シーンや他の産業への活用を促進するため、「DCPビジネス・フォーラム」を引き続き開催する。

2 ツーリズム産業の振興

【大阪の集客魅力の向上・PRとツーリズム産業の振興】

- ①大阪の観光魅力向上や滞在客増加に向け、「大阪ナイトカルチャー」関連事業の定着を図る。このため、文化メニューを夜でも楽しめるよう、レイトショーの定常化やメニューの充実、ミッドナイトチェックイン制度の推進など夜間の都市インフラの整備促進を、関係業界・団体の協力を得ながら展開する。
- ②中国・台湾など東アジアからのビジターをターゲットとして、産業観光を組み入れたモデルルートの開発や、観光プロモーション、観光インフラ整備などの「東アジアからのインバウンド推進事業」に取り組む。

- ③大阪府・大阪市・大阪観光コンベンション協会などと連携しつつ、「観光・コンベンション振興団体の機能強化」を引き続き働きかけるとともに、大阪らしい産業観光モデルルートの開発や受け入れ窓口設置などの「産業観光振興」に取り組む。また、効果的な「集客観光産業振興」策に関する要望活動を実施する。

3 ライフサイエンス産業の振興

【大阪・関西をライフサイエンス産業の一大拠点とするための取り組み】

- ①大阪・関西をライフサイエンス産業の一大拠点とするため、国家プロジェクトの誘致や民主導の取り組みなど「バイオ情報ハイウェイ第Ⅱ期構想」に盛り込まれた25プロジェクトを推進する。同時に、関連自治体・団体と共同で海外のバイオクラスターとの連携を強化するための統一的な窓口組織「国際クラスター連携委員会」を立ち上げるとともに、本会議所が医療機器分野の窓口として、海外との情報受発信、マッチングなどのコーディネートを行う。また、「次世代医療システム産業化フォーラム」や「バイオビジネスコンペJAPAN」を引き続き実施する。さらに、「治験薬製造共同利用施設」の設置や「ポスト知的クラスター事業」に関する要望の検討・実施などにより、新しいライフサイエンス関連産業の育成・振興を図る。
- ②今後成長が見込まれる健康サービス産業を支援するため、本会議所の会員企業を対象に、健康関連サービス(検診・情報提供)に取り組む。

大阪経済の活性化を実現するための重点テーマへの取り組み

1 企業や研究機関が集積する「大阪」

【ターゲットを絞った戦略的な企業・研究機関・大学などの誘致】

- ①「大阪外国企業誘致センター(O-BIC)」を核に、東アジア地域をはじめとする企業などの誘致を効率的に進めるほか、ライフサイエンスやロボット、情報家電などの産業クラ

スター形成に役立つ企業誘致を行う。また、戦略的企業誘致に向け、大阪府・大阪市・経済団体などオール大阪での取り組みに注力する。加えて、企業誘致に向けた各種インセンティブに関する提言・要望活動を行う。

- ②戦略的な企業・研究機関の誘致を進める観点から、バイオ関連の国際連携事業（「B I O 2 0 0 7 視察団」、「バイオビジネスコンペ J A P A N」）でのPRなどを通じて、国際的な企業・機関との相互連携を図る。

2 起業家に選ばれる「大阪」

【有望ベンチャー企業への重点的支援による将来の大阪経済を担う企業の育成】

- ①成長が期待される有望ベンチャーを重点的に支援する「大商EVEシステム」により、将来の大阪経済を担う企業を発掘するとともに、選ばれた企業のフォローアップなど育成強化に取り組む。
- ②エンジェルとベンチャー企業のウェブ上の出会いの場「棧ネット」を運営し、創業前後の有望ベンチャーへの円滑な資金供給を促進する。
- ③株式公開などを目指す企業経営者間の交流・研鑽の場として、大阪証券取引所と共同で「だいしょうベンチャークラブ(DVC)」を継続開催するとともに、情報家電・バイオ関連分野の国際的なクラスター間交流を行う「グローバル・ベンチャー・フォーラム(GVF)07」を実施する。
- ④製薬会社・大学・研究機関などから生み出される創薬シーズなど知的財産の流通を促進する「創薬特許マーケット」の運営など、知的財産立国に向けた支援制度の充実に引き続き取り組む。また、バイオ分野の知的財産の有効活用に向けた環境整備についての要望を検討する。

3 地域商工業に活力があふれる「大阪」

【気概ある地域商工業者の経営革新と地域活性化の取り組みを支援】

- ①第二創業や経営革新などに必要な専門知識、IT化、新分野進出、販路開拓などのニーズに的確に対応できる「ワンストップによる相談機能(ビジネス・ホームドクター)」の体制を強化する。
- ②まちづくりと一体となった魅力的な商業集積の形成を支援するため、「商業まちづくり特区」設定・支援事業、「まちづくり活動を推進する事業者の人材育成と支援事業」を実施する。
- ③健康で活動的なシニア世代（アクティブシニア）を対象とした、新しいビジネスの創出・振興を支援するプラットフォーム「日本アクティブシニアビジネス振興フォーラム」を運営し、企業間のアライアンスによる事業化を支援する。
- ④ファッションはじめライフスタイルビジネス全般に関わる人材の発掘・育成、産業振興を行うために、「大阪ライフスタイルコレクション」を開催し、大阪のまちの賑わい創出を図る。
- ⑤ウェブ上で運営する商談サイト「the商談モール」を中堅中小企業に対して広報・PRするとともに、「ザ・ビジネスモール」の利用を促進し、新市場や販路開拓などを支援する。また、「電子自治体活用支援事業」を通じて、中堅中小企業におけるIT化推進への取り組みをサポートする。
- ⑥市場化テストの実施など公共サービスの民間開放を大阪府・大阪市に働きかけ、企業のビジネス機会の拡大に取り組む。

4 都市のプレゼンスと求心力の高い「大阪」

【地域資源のブランド構築と都市の新たな魅力づくりやプロモーション強化】

- ①大阪の食文化のコンセプトと「食」に関するブランドを構築し、国内外に情報発信する「大阪 "食彩" ブランド事業」を展開する。
- ②大阪の都市プロモーションや、映像・コンテンツ関連産業の振興のため、「大阪ロケーション・サービス協議会」事業を展開するとともに、大阪発の映像作品の企画・制作を支援する。
- ③「関西国際空港全体構想」の推進や、同空港の利用促進のためのプロモーション活動を展開するとともに、「大阪駅北地区開発」促進事業への参画、「重点地域（御堂筋周辺など）の整備・活性化」を通じて、大阪の核となる都市基盤整備と魅力づくりに取り組む。
- ④大阪の様々な地域魅力を再発見し、内外に発信することにより都市イメージの向上を図るため、「大阪検定（仮称）」の実施に向けた検討を行う。

5 美しいまち、安全・安心して過ごせる「大阪」

【都市問題解決への取り組みと花・緑・光あふれる水都・大阪の実現】

- ①「まち再生ワーキンググループ」が発行した割れ窓理論事例集の活用や防犯対策セミナー・シンポジウムの開催など啓発・普及事業を展開する。また、行政・まちづくり団体などと協働し、落書き、放置自転車問題などの解決に取り組むほか、「『歩道を広く使おう』キャンペーン」、「ミナミ賑わい創出事業」などを実施することにより、大阪の治安向上を図る。
- ②ミナミの活性化に向け、魅力的なまちづくりという観点から総合的に同地域の再生支援に取り組むとともに、地域の資源を活かしながら、社会的課題に取り組むコミュニティ・ビジネスを振興するため、「おおさかCBアワード」や「おおさか・まちとコミュニティ・フォーラム」を実施し、まちおこしや地域の活性化を進める。

- ③大阪市内の口の字河川（堂島川、東横堀川、道頓堀川など）において、行政と地域の企業・住民が協働し、川から見た景観の向上方策を研究するために「大阪・水辺のランドスケープ研究会」を運営するとともに、地元行政・民間企業・市民などが一体となった「花・緑・光・水を活かしたまちづくり」事業や「水都再生」事業に取り組む。
- ④ホームレスの自立支援と、清潔で美しい景観形成を促進するため、「ホームレス問題の解決」などに関し、具体的な提言・要望や支援活動を行うなど、都市問題の解決に取り組む。

6 明日の産業を担う人が育つ「大阪」

【大阪をあげて若年者の健全な職業観を養成するための仕組みづくりと取り組み】

- ①「大阪キャリア教育支援ステーション」において、職業体験機会の提供や社会人講師の派遣などの「教育現場への産業界からの直接支援事業」を行うとともに、「企業と教育界が連携した大阪独自のキャリア教育プログラム・教材の開発事業」を展開し、初等教育段階からの健全な職業観を養成する。さらに、キャリア教育や企業家精神に関する教育の先進国に視察団を派遣し、産学官・地域の協働による人材育成の取り組みや産業界と教育界の連携方法などを調査するほか、「キャリア教育・地域啓発ミニフォーラム」を開催し、キャリア教育に関する啓発を図る。
- ②「大阪企業家ミュージアム」のコンテンツの充実、関西圏の博物館との連携強化により入館促進を図るとともに、夏休み期間の特別プログラムの実施などを通じ、企業家精神・職業観の養成など人材育成事業を展開する。

7 東アジアが注目する「大阪」

【国際ビジネス拠点としての魅力向上と在阪企業の対アジアビジネス活動の支援】

- ①「東アジア圏ビジネス交流機会創出事業（バーチャル商談会、国別セミナー、個別商談会など）」の展開により、経済成長著しい東アジア各国との商談の場やビジネス情報などをきめ細かく提供する。また、大阪の国際ビジネス機能強化のため、東アジア地域の将来有

望な企業家を招聘し大阪での拠点づくりを支援する。さらに、「ベトナムビジネス研究会」の運営などを通して、ビジネス拠点として会員企業の関心が高まりつつあるベトナムに関する情報提供を行う。

- ②「中国ビジネス支援事業（コンサルティング、セミナー、商談会、ビジネス中国語講座など）」を引き続き実施し、企業の対中ビジネスを支援する。
- ③エンジン産業の振興を図るとともに、大阪への企業誘致やビジネス交流を促進するため、北米経済使節団を派遣する。また、ソウルで開催される日中韓産業交流会に参加する。さらに関西の経済団体と共同で「関西財界訪中団」を派遣する。

第2次アクションプランの策定

これまでの3カ年にわたる「大阪賑わい創出プラン」アクションプランの取り組み結果を総括するとともに、大阪のあるべき姿を目指し、第2次アクションプランを策定する。